

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

別添資料6

公表: 年 月 日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービスアニマートてんろく

保護者等数(児童数) 10 (11) 回収数 7 割合 70 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	5	1		1	人数が多いと少し狭めになるが 少人数だと許容範囲	設備配置を工夫し、スペースを確保する。 安全に注意を払い活動を行う。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	3	3		1		内部・外部問わず研修に参加し、 専門性を高めていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6			1		玄関に2段、ベビーゲート付近に 段差がある。必要に応じてスロー プや手すり等の対応を行う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7					引き続き、環境美化に取り組む。
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	4	3			子どもの弱点が いまいち分からない	苦手なポイント、得意な分野等詳 しく保護者にお伝える。 保護者、園、相談員と密に連絡を とる。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	3				保護者、園、相談員と情報共有 を行った後、支援会議を都度行 い、具体的な支援内容の設定を 行う。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	3				支援計画を各職員 熟知したうえで支援にあたる。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	5	2				月ごとで活動プログラムを見直 し、 成長段階や必要に応じた活動プ ログラムを実施していく。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4		2	1	幼稚園が終わってから 通所している為とくに交 流はなくてもいい	事業所演奏会等、外部交流し やすいイベントを企画していく。
適切な支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	7					今後も継続して、丁寧な説明を心 がける。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	5	2				今後も引き続き、支援計画を確認 しながら説明にあたり、不明点 等のないよう心がける。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われている	1	2	3	1		定期的な面談や日々の送迎時を中心 に、ペアレントトレーニングを行っ ていく。 ペアレントトレーニングの研修参加
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていくか	6		1			定期的な面談や日々の送迎時を中心 に、子どもの状況について しっかり情報共有を行う。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	1	4	1	1		今後、定期的に面談を行って いく。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2	1	3	1	保護者同士で顔を合わ せる機会はないが特に 必要ない	ニーズに基づき、年数回保護者 会を実施する。
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	6			1		今後も引き続き、迅速な対応に あたる。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	7					連絡帳だけでなく、電話やメールといった各家庭の状況にあった連絡手段を用いている。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	5	2				月1回ペースで会報を配布している。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	7					今後も継続して、注意して取り扱う。
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	5	1			天候で警報が出たとき(暴風警報等)幼稚園や学校などのように休校や引き渡しがあるのか分からない	警報が出たときの連絡について分かりやすいマニュアルを作成し、保護者にお伝えしていく。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	7					月に1回避難訓練を行っており、今後も様々なケースを想定した訓練を行う。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	7				通所を楽しみにしている	今後も、楽しいと思っていける活動プログラムを実施していく
	23 事業所の支援に満足している	7				いつも満足して帰ってくる。家でできていないこともやっていただいたり、本人も喜んでいる(料理など)	今後も子どもの為に何かできるかを第一に考え、各機関、保護者と協力しながら支援にあたる。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

別添資料11

公表: 年 月 日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービスアニマートてん 保護者等数(児童数) 14 回収数 7 割合 50 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	2			たまに10人以上でいっぱいだしんどい	設備配置を工夫し、スペースを確保する。安全に注意を払い活動を行う。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3	2		2	先生がよく変わり、増減がある。	職員の教育を徹底し、働きやすい環境づくりに取り組む。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			3		間に2段、ベビーゲート付近に段差がある。必要に応じてスロープや手すり等の対応を行う。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	6			1		今後も引き続き、密に連絡を取り合い、計画作成にあたる。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	7				少しマンネリ化している。	月ごとに活動プログラムを見直し、適宜新しいプログラムを提案していく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	1	2		事業所演奏会等、外部交流しやすいイベントを企画していく。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7					今後も丁寧な説明を心がけていく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7					定期的な面談や日々の送迎時を中心に、子どもの状況についてしっかり情報共有を行う。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7					定期的な面談を行う。子どもの様子について随時お伝えしていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1	2	1	他の親は知り合い以外知らない。	年数回保護者会を実施する。イベントを企画し、外部交流の機会を設ける。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			1		子どもや保護者の意見にしっかり耳を傾け、環境整備など迅速な対応に徹し、よりよい環境づくりを行っていく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7					連絡帳だけでなく、電話やメールといった各家庭の状況にあった連絡手段を用いている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		1	前はブログを見ていたが今はどうなっているのか	今後、インスタグラムやブログを通じた発信をこまめに行っていく。
14 個人情報に十分注意しているか	7					今後も日々注意して取扱いにあたる。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6			1		時期に応じて分かりやすいマニュアルを作成し、保護者にお伝えしていく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7					月に1回活動プログラムのなかに避難訓練を取り入れており、今後も継続して行っていく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	6	1				今後も、楽しいと思っていただけの活動プログラムを実施していく。
	18 事業所の支援に満足しているか	6	1				今後も子どもの為に何が出来るかを第一に考え、各機関、保護者と協力しながら支援にあたる。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されている。